

[家庭]

令和 4年度	科目名	単位数	学科・学年	
	家庭総合	2	全学科・2学年	

1, 学習の到達目標

学習の到達目標	人間の健全な発達と生活の営みを人の一生とのかかわりの中で総合的にとらえ、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
使用教科書・副教材等	「高等学校 新版 家庭総合 とともに生きる・持続可能な未来をつくる」(第一学習社)

2, 評価の観点

	定期考査	授業の取組	ノート提出	課題提出	科目による評価規準
評価 観点	関心・意欲・態度	◎	○	○	授業中の取り組みの姿勢、課題などの提出状況を特に重視する。
	思考・判断・表現	○	○	○	
	技能		◎	◎	
	知識・理解	◎	○	○	

3, 年間計画

月	週	配	学習項目	学習到達目標	学習の方法
4	3	4	9章 生活をデザインしよう	・「家庭総合」を学ぶにあたり、学習内容や意義について理解する。	講義
		2	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		
5	4	4	10章 生活の充実・向上をめざして	・青年期における自己管理ができ、男女が協力して社会をつくることを理解する。	講義・実習
		4	1章 これからの生き方と家族		
6	4	4	1 青年期を生きる	・時代により変わる家族・家庭観を学び、よりよい生き方を考えることができる。	講義・実習
		4	2 家族・家庭と社会とのかかわり		
		4	7章 装う		
		4	1 人の一生と被服		
7	1	2	2 被服材料と管理	・家族に関する法律について理解する。	講義
		2			
9	4	2		・衣服の機能や役割について理解する。	講義・実習
		2	3 被服の製作		
10	4	2	(被服実習1)	・衣生活の現状や問題点を把握し、自分たちの衣生活と結びつけて理解できる。	講義・実習
		2	(被服実習2)		
		2	(被服実習3)		
		1			
		2	(被服実習4)		
		2	(被服実習5)		
		2	(被服実習6)		
		2	(被服実習7)		
		2	(被服実習8)		
2	(被服実習9)				
11	4	2	5章 経済生活を営む	・学習の理解度を認識する。	期末考査
		2	1 私たちの暮らしと経済		
12	1	2	2 消費者問題を考える	・自分の力で作品を完成できる。	講義・実習
		2			
1	3	2	3 持続可能な社会をめざして	・自己表現としての着装について学ぶ。	講義・実習
		2	2章 次世代をはぐくむ		
2	4	2	1 子どもの発達	・家庭の収入・支出、予算生活の必要性について理解し、将来を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を理解する。	講義・実習
		2	2 親の役割		
		2			
		2			
3	1	2	3 子育て支援と福祉	・消費生活の現状と課題、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解する。	講義・実習
		1			
		2		・消費者としての権利と責任を自覚して主体的に行動できるようにする。	講義・実習
		2			
		2		・保育を学ぶ意義について学習する。	講義
		2			
		2		・人間の発達について理解する。	講義
		2			
		2		・青年期の健康管理の重要性を理解する。	講義・実習
		2			
		2		・子どもに対する親のかかわり方を考える。	講義・実習
		2			
		2		・子どもをとりまく環境を知り、子どもの発達と環境とのかかわりについて学習する。	講義・実習
		2			
		2		・子育てのための社会的支援を知る。	講義・実習
		1			
		1		・学習の理解度を認識する。	学年末考査

[家庭]

令和 4年度	科目名 家庭総合	単位数	学科・学年
		2	全学科・3学年

1, 学習の到達目標

学習の到達目標	人間の健全な発達と生活の営みを人の一生とのかかわりの中で総合的にとらえ、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
使用教科書・副教材等	「高等学校 新版 家庭総合 とともに生きる・持続可能な未来をつくる」(第一学習社)

2, 評価の観点

		定期考査	授業の取組	ノート提出	課題提出	科目による評価規準
評価 観点	関心・意欲・態度		◎	○	○	授業中の取り組みの姿勢、課題などの提出状況を特に重視する。
	思考・判断・表現	○	○		○	
	技能		◎		◎	
	知識・理解	◎	○	○	○	

3, 年間計画

月	週	配 課	学習項目	学習到達目標	学習の方法
4	3	4	9章 生活をデザインしよう	・「家庭総合」を学ぶにあたり、学習内容や意義について理解する。	講義
		2	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		
5	4	4	3章 充実した生涯へ	・高齢社会を理解するとともに自分の生き方を考えることができる。	講義
		4	1 高齢期を生きる		
6	4	4	2 高齢社会を支え合う	・高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解する。	講義・実習
7	1	4	4章 とともに生きる	・介護について知る。	講義
9	4	4	4章 とともに生きる	・介護保険制度等の社会的支援制度を知る。	講義・実習
10	4	3	8章 住まう	・ノーマライゼーションの実現のためには、私たち自身がどう考え、取り組んでいけばよいかという実践的な態度を身につける。	講義・実習
		1	1 人の一生と住まい		
11	4	2	2 住生活の計画と選択	・人にとってなぜ住まいが必要なのか、住まいの発生をさかのぼって考える。	講義・実習
		2	3 これからの住生活		
12	1	2	6章 食べる	・学習の理解度を認識する。	講義
		2	1 人の一生と食事		
1	3	2	(調理実習1)	・適切な栄養摂取ができる知識が身につく。	講義 実習
		2	2 栄養と食品		
1	3	2	(調理実習2)	・適切な食品の摂取ができる。	講義 実習
		2	3 食生活の安全のために		
1	3	2	(調理実習3)	・食品衛生を踏まえた食生活ができる。	講義 実習
		2	4 食生活をデザインする		
1	3	1		・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた家族の献立作成ができる。	講義
		2	(調理実習4)		
1	3	2	(調理実習5)	・学習の理解度を認識する。	実習
		2	5 これからの食生活		
1	3	2	(調理実習6)	・自分たちの生活が地球環境と密接な関係を持っていることを考えた生活ができる。	講義 実習
		1			
				・学習の理解度を認識する。	学年末考査